

令和 6 年度第 2 回 市川市健康都市推進協議会



令和 7 年 2 月 10 日
企画部健康都市推進課

報告 1 次期市川市健康増進計画 健康いちかわ21の策定の基礎となる 市民アンケート調査の実施結果について

議題 1 現行市川市健康増進計画 健康いちかわ21の最終評価について

■策定時と現況の比較

議題 2 次期市川市健康増進計画 健康いちかわ21の目標設定について

■国、県および市関連計画と整合する目標値（案）

■ 現行第2次計画の評価と次期第3次計画策定のための基礎調査を実施－①成人

【実施時期】 令和6年11月1日～30日

【対象と回答数】

(A) 無作為に抽出する20歳以上の市民 対象数：1,400人 回答数： 532人（回答率 38.0%）

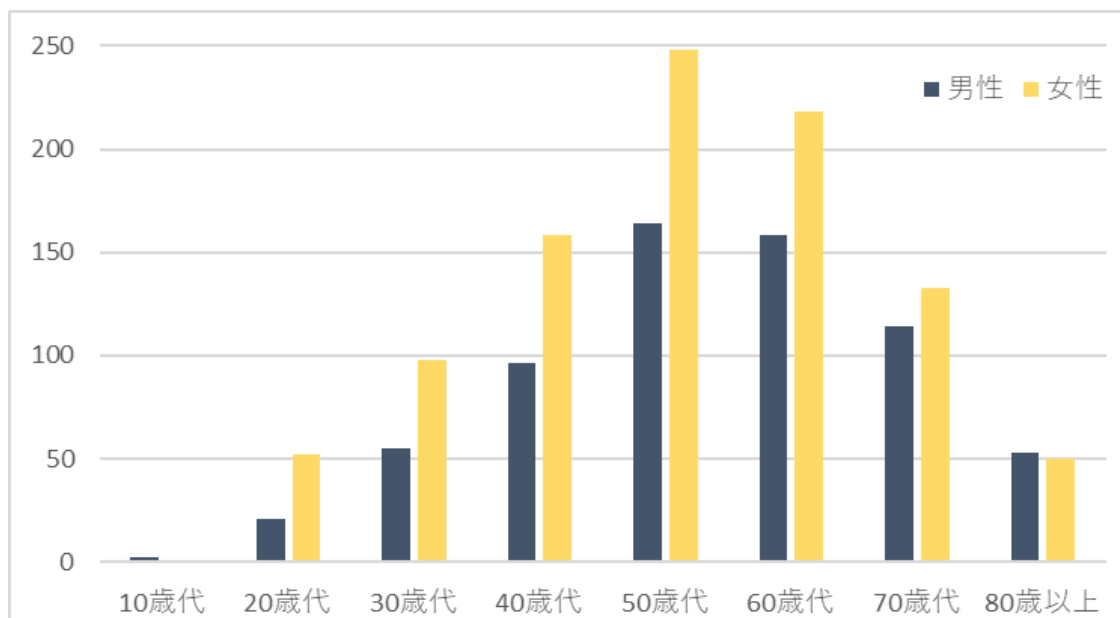
(B) 不特定多数の市民 回答数：1,106人

合計：1,638人

必要数652以上の回答が得られたことから統計的に有意といえます

【回答者の属性】

	男性	女性	不明	合計	年代別割合
10歳代	2	0	0	2	0.1%
20歳代	21	52	0	73	4.5%
30歳代	55	98	0	153	9.3%
40歳代	96	158	0	254	15.5%
50歳代	164	248	2	414	25.3%
60歳代	158	218	2	378	23.1%
70歳代	114	133	4	251	15.3%
80歳以上	53	50	6	109	6.7%
不明	1	2	1	4	0.2%
合計	664	959	15	1638	100.0%
性別割合	40.5%	58.5%	0.9%	100.0%	



■ 現行第2次計画の評価と次期第3次計画策定のための基礎調査を実施 – ② 高校生・小学生

【高校生】

市内の県立高校 2 校を選定し、1~3年生を対象に
webアンケート調査を実施

国分高校 960人

市川南高校 860人

対象者数合計 1,820人

回答者数 436人（回答率24.0%）

【回答者の属性】

	男子	女子	合計	居住地割合
市内	94	119	213	48.9%
市外	85	138	223	51.1%
合計	179	257	436	100.0%
性別割合	41.1%	58.9%	100.0%	

【小学生】

公的統計として教育委員会が実施する児童・生徒の
ライフスタイル調査等の結果をデータソースとします

市立小学校39校の2年生・5年生・6年生

	2年生	5年生	6年生
男子	1,800	1,763	1,807
女子	1,821	1,700	1,651
合計	3,621	3,463	3,458

※第2次計画の評価は2・5年生、
第3次計画のベースライン値は項目によって5年生または6年生
の集計値を用います

■評価の手順

第2次計画の構成

基本目標の達成に向けた分野別の取り組み

(1) 生活習慣病の予防	-1. 栄養・食生活
	-2. 身体活動・運動
	-3. 休養（こころの健康）
	-4. 飲酒
	-5. 喫煙
	-6. 歯・口腔の健康
(2)	感染症対策
(3)	社会環境の整備

基本目標

健康寿命の延伸

（・健康格差の縮小）

基本理念

「誰もが健康なまち」づくり

■基本目標「健康寿命の延伸」に対する評価

【評価の方法】

次に掲げる指標について、策定時（H28）の値と現状（R6）の値を比較して、総合的に延伸状況について評価します。

指標（１）健康であると感じる市民の割合【主観的健康観】

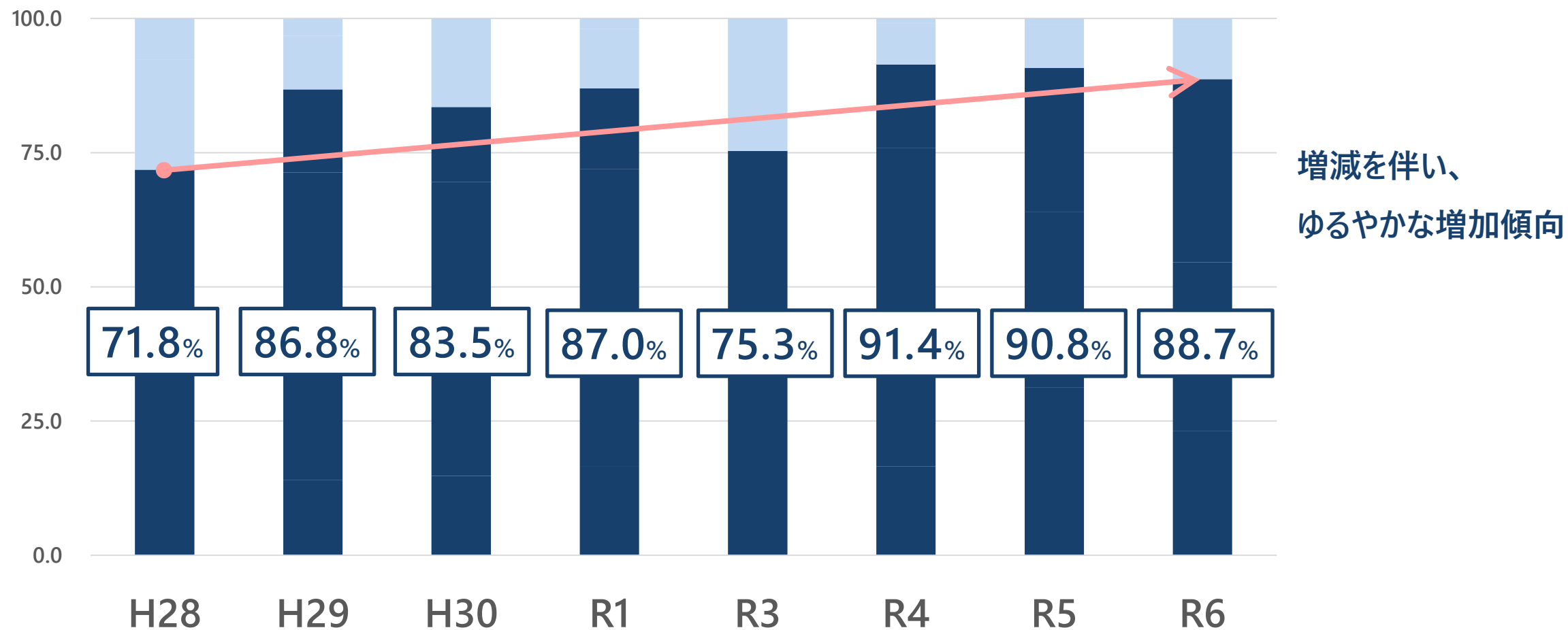
（２）健康寿命【65歳（年）＋平均自立期間（年）】

（３）平均寿命【65歳（年）＋平均余命（年）】の伸びと健康寿命の伸びの比較



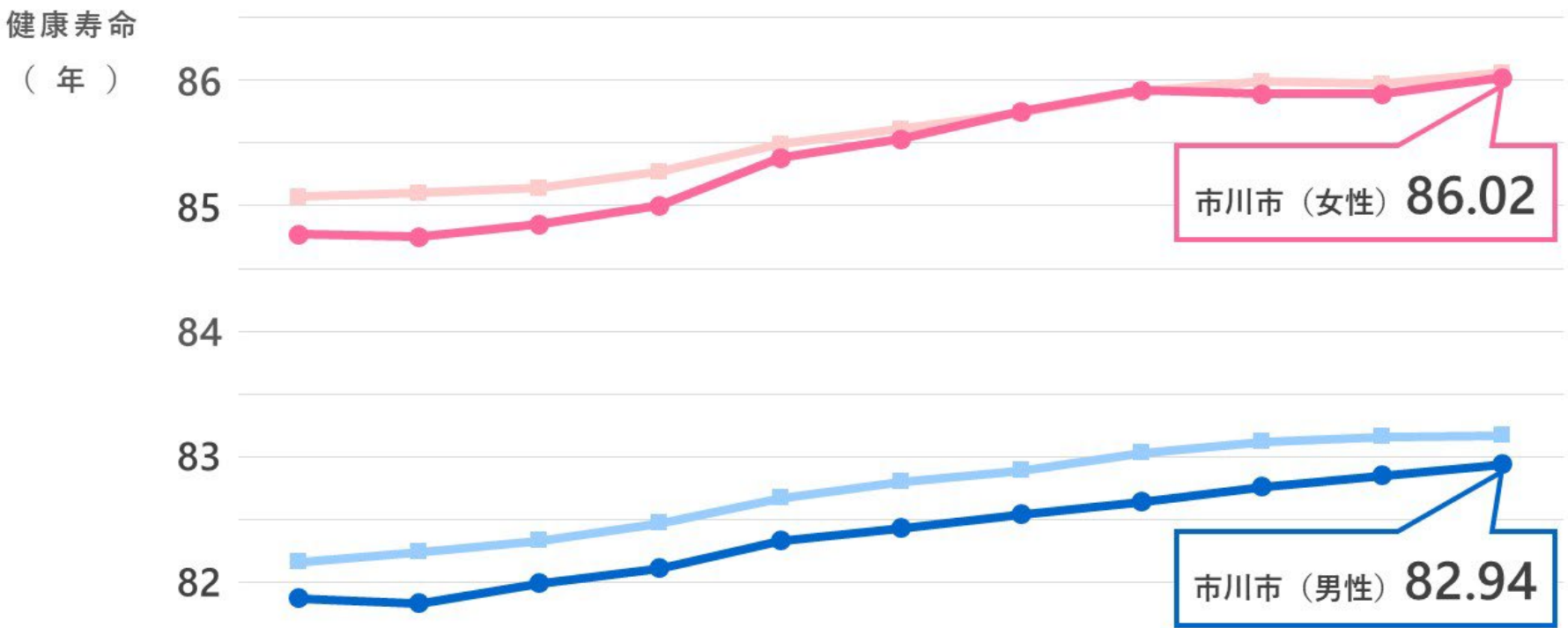
■基本目標「健康寿命の延伸」に対する評価

(1) 健康であると感じる市民の割合【主観的健康観】



基本目標「健康寿命の延伸」に対する評価

(2) 健康寿命【65歳（年）+平均自立期間（年）】

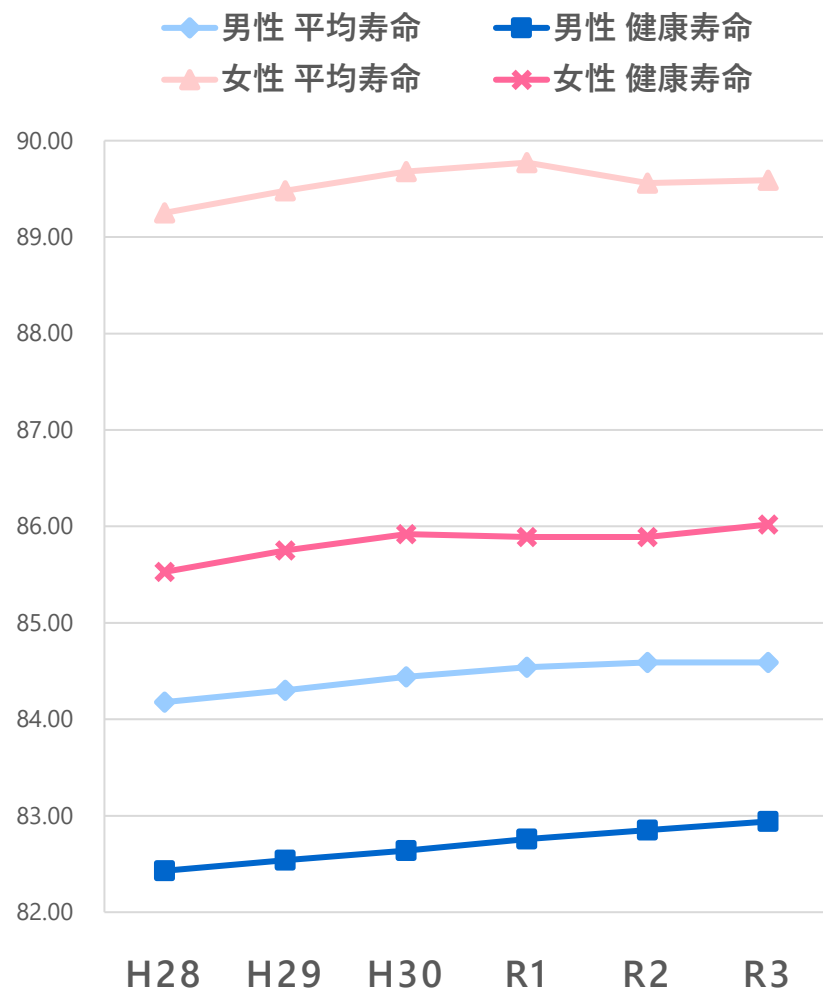


男女とも計画期間を通じて
健康寿命は延伸している

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
千葉県（男性）	82.16	82.24	82.33	82.47	82.67	82.80	82.89	83.03	83.12	83.16	83.17
市川市（男性）	81.87	81.83	81.99	82.11	82.33	82.43	82.54	82.64	82.76	82.85	82.94
千葉県（女性）	85.07	85.10	85.14	85.27	85.49	85.61	85.74	85.91	85.99	85.97	86.06
市川市（女性）	84.77	84.75	84.85	85.00	85.38	85.53	85.75	85.92	85.89	85.89	86.02

■基本目標「健康寿命の延伸」に対する評価

(3) 平均寿命【65歳（年）+平均余命（年）】の伸びと健康寿命の伸びの比較



			2016	2017	2018	2019	2020	2021
			H28	H29	H30	R1	R2	R3
市川市	男性	平均寿命	84.18	84.30	84.44	84.54	84.59	84.59
		健康寿命	82.43	82.54	82.64	82.76	82.85	82.94
	女性	平均寿命	89.25	89.48	89.68	89.77	89.56	89.59
		健康寿命	85.53	85.75	85.92	85.89	85.89	86.02

平均寿命の伸び

	H28	R3	伸び
男性	84.18	84.59	0.41
女性	89.25	89.59	0.34

健康寿命の伸び

	H28	R3	伸び
男性	82.43	82.94	0.51
女性	85.53	86.02	0.49

■分野別目標の評価

【評価の方法】

分野ごとに目標に紐づく指標について、可能な限り策定時（H27）の値と現状（R6）の値を比較して、その改善度合いの判定を行います。指標の判定を受けて、目標に対する一定の評価を行います。

【指標の判定方法】

基準値（H27）を100として、現状値（R6）と比較する定量的な判定を行います。

（例）

基準値 62.8%：現状値 73.1% = 100：X

X = 116.4

16.4%の改善 ▶ 「A」判定

【判定の区分】

区分	内 容
A	大きく改善：基準値を100として±10%以上改善傾向
B	改善：基準値を100として±5%以上改善傾向
C	変化なし：基準値を100として±5%未満
D	悪化：基準値を100として±5%以上悪化傾向
E	未判定：調査未実施、設問変更等により比較不能

指標全体からEを除いたもののうち、AまたはBの比率から分野ごとの改善度合いを評価します。

■（１）生活習慣病の予防【総括】

分 野	A	B	C	D	E	指標数	判定対象	A・B	改善の割合
-1. 栄養・食生活	5	0	1	7	6	19	13	5	38.5%
-2. 身体活動・運動	5	0	0	0	1	6	5	5	100.0%
-3. 休養（こころの健康）	3	0	0	2	0	5	5	3	60.0%
-4. 飲酒	7	0	1	0	2	10	8	7	87.5%
-5. 喫煙	3	0	0	0	3	6	3	3	100.0%
-6. 歯・口腔の健康	3	0	0	0	6	9	3	3	100.0%
計	26	0	2	9	18	55	37	26	70.3%

判定可能のもののうち、**7**割は策定時から改善と判定

「栄養・食生活」や「休養」の一部に悪化の傾向がみえる

（1）-1. 栄養・食生活

改善（A・B）の割合 38.5%

【目標】

- ①朝食を食べる人の増加
- ②主食・主菜・副菜を揃えたバランスの良い食事をする人の増加
- ③野菜摂取量の増加

【評価】

①年代別・性別で改善傾向が見られるところもあるが、一方で高校生や20歳代の若い世代が悪化傾向にある。
②・③は次期計画で数値化して動向を注視していく必要がある。

指 標			基準 H27	中間 R3	現状 R6	判定 基準対比	参考 中間対比
栄養・食生活	食事が健康にとって重要だと思う人の割合	幼児小学生	99.7	97.5	－	E	－
		1 中高生	95.2	95.5			
		成人	98.2	97.4			
	適正体重を維持している人の割合	2 男子高校生	70.0	70.7	62.6	D	D
		3 女子高校生	61.3	66.4	72.0	A	B
		4 20～79歳	69.1	63.8	66.3	C	C
	肥満傾向にある子どもの割合	5 男子	1.7	11.8	8.3	D	A
		6 女子	1.6	8.6	7.1	D	A
	ほとんど毎日、1日3食食べる人の割合	7 20～79歳	72.6	66.8	－	E	－
	朝食欠食率（朝食が週3日以下）	8 幼児小学生	3.0	1.8	1.3	A	A
		9 中高生	9.8	10.6	25.2	D	D
		10 20～79歳	18.1	19.0	12.4	A	A
		11 20歳代男性	19.4	21.1	47.6	D	D
		12 30歳代男性	27.0	47.1	29.1	D	A
		13 20歳代女性	30.0	29.4	25.0	A	A
	1週間に朝食を摂る日が6-7日の人の割合	14 30-40歳代男性	56.6	56.9	69.5	A	A
		15 20歳代女性	60.0	55.9	50.0	D	D
	1日1食以上、主食・主菜・副菜を揃えたバランスのよい食事をする人の割合	16 幼児小学生	89.9	92.1	－	E	－
		中高生	76.3	86.1			
		20～79歳	71.9	81.8			
	栄養成分表示を参考にする人の割合	17 20～79歳	54.2	51.6	－	E	－
	健康維持に必要な野菜を摂取していると思う人の割合	18 幼児小学生	72.8	69.0	－	E	－
		中高生	63.3	71.0			
		成人	62.8	73.1			
	朝食または夕食を家族や知人と週10回以上食べる割合	19 幼児小学生	94.2	92.4	－	E	－
		中高生	61.1	63.0			
		成人	53.0	55.8			

■ (1) -2. 身体活動・運動

改善 (A・B) の割合 **100%**

【目標】

- ①日常生活における歩数の増加
- ②運動習慣者の割合の増加

指 標				基準 H27	中間 R3	現状 R6	判定 基準対比	参考 中間対比
身体 活 動 ・ 運 動	運動が健康にとって重要だと思う人の割合	20	幼児小学生	90.1	90.1	—	E	—
			中高生	79.5	76.7			
			成人	76.9	82.8			
	運動習慣者の割合	21	幼児小学生 (外遊び)	14.8	11.8	32.4	A	A
		22	中高生	44.7	39.4	56.4	A	A
		23	成人	42.7	43.7	53.7	A	A
		24	20～79歳男性	46.8	50.0	59.0	A	A
		25	20～79歳女性	39.4	38.4	48.6	A	A

【評価】

- ①策定時に数値の捕捉がなく、増減の判定不能。
国・県の現状値と比較して、65歳未満の若い世代の歩数が少ないことから、引き続き次期計画の中で促進の必要がある。
- ②運動習慣者の割合は大きく改善した。

■ (1) -3. 休養 (こころの健康)

改善 (A・B) の割合 60%

指 標			基準 H27	中間 R3	現状 R6	判定 基準対比	参考 中間対比
休 養	睡眠による休養を十分取れていない人の割合	26 成人	25.3	27.4	26.9	D	C
	最近1ヶ月に不安・悩み・ストレスがあった人の割合	27 中高生	40.9	36.9	21.1	A	A
		28 成人	47.5	47.4	15.8	A	A
	不安・悩み・ストレスのある人のうち、ある程度解消できている人の割合	29 中高生	30.7	29.4	35.9	A	A
		30 成人	29.5	17.1	27.5	D	A

【目標】

①睡眠による休養を十分に取れていない人の割合の減少

【評価】

休養を十分に取れていない人がやや増加し、悪化傾向にある。

心理的ストレスを抱えている人は減少傾向にある。

ただし、抱える心理的ストレスが解消できていない人は一定の割合でいる（有意な改善は見られない） 点に注意が必要。

（1）-4. 飲酒

改善（A・B）の割合 87.5%

【目標】

- ①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少
- ②妊娠中の飲酒をなくす

【評価】

- ①大きく改善傾向にある。
- ②有意な比較判定は困難であるが、引き続き次期計画において市民啓発が必要。

指 標			基準 H27	中間 R3	現状 R6	判定 基準対比	参考 中間対比	
飲 酒	1日2合以上の飲酒をする人の割合	31 成人	18.0	26.1	14.6	A	A	
		32 成人（男性）	28.9	32.3	24.8	A	A	
		33 成人（女性）	22.8	19.2	7.5	A	A	
	適度な飲酒が1日1合までと知っている人の割合	34	－	39.9	40.7	－	E	－
	ほぼ毎日飲酒する人の割合	35 成人	16.4	15.4	14.2	A	B	
		36 40歳代男性	22.1	10.5	7.3	A	A	
		37 50歳代男性	41.8	29.3	23.2	A	A	
		38 60歳代男性	31.7	34.1	32.3	C	A	
		39 70歳代男性	31.2	38.3	28.9	A	A	
	長期間多量飲酒の健康への影響の認知率	40	肝臓病	90.7	86.5	－	E	－
			依存症・中毒	85.6	87.4			
			妊娠（胎児）への悪影響	58.9	54.2			
			糖尿病	44.5	46.0			
乳幼児・青少年の発達への悪影響			37.3	40.2				
動脈硬化			37.0	41.9				
脳卒中			38.7	40.4				
心臓病			27.4	31.0				
がん			26.1	34.9				

■ (1) -5. 喫煙

改善 (A・B) の割合 100%

【目標】

- ①成人の喫煙率の減少
- ②未成年者の喫煙防止
- ③妊娠中の喫煙をなくす

【評価】

- ①男女とも大きく改善傾向にある。
- ②・③有意な比較判定は困難であるが、引き続き次期計画において市民啓発が必要。

指 標				基準 H27	中間 R3	現状 R6	判定 基準対比	参考 中間対比	
喫煙	喫煙率	41	成人	18.4	14.7	10.0	A	A	
		42	成人（男性）	29.1	24.9	16.1	A	A	
		43	成人（女性）	9.7	6.5	5.6	A	A	
	COPDの認知率		44	－	49.0	21.1	－	E	－
	受動喫煙の健康への影響の認知率		45	成人	93.2	94.7	－	E	－
	喫煙の健康への影響の認知率	46	肺がん	93.6	96.8	－	E	－	
			妊娠（胎児）への悪影響	63.1	66.7				
			気管支炎	71.7	77.5				
			ぜんそく	63.6	70.6				
			心臓病	38.6	41.6				
			脳卒中	41.1	45.5				
			歯周病	31.8	41.1				
胃かいよう			16.2	19.1					
乳幼児・青少年の発達への悪影響			53.6	59.3					

■ (1) -6. 歯・口腔の健康

改善 (A・B) の割合 100%

【目標】

- ① 歯科健康診査を受診している人の割合の増加
- ② 進行した歯周炎を有する人の割合の減少

【評価】

- ① 大きく改善傾向にある。
- ② 有意な比較判定は困難であるが、引き続き次期計画において市民啓発が必要。

指 標				基準 H27	中間 R3	現状 R6	判定 基準対比	参考 中間対比
歯・口腔の健康	80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合	47	80歳代以上成人	25.3	34.0	53.5	A	A
	40歳代で喪失歯の無い人の割合	48	40歳代成人	52.2	60.2	71.4	A	A
	進行した歯周炎を有する人の割合	49	20歳代成人	35.5	28.3	-	E	-
			40歳代成人	8.1	1.0			
			60歳代成人	12.4	7.6			
	この1年で歯科健康診査を受診している人の割合	50	成人	31.9	40.7	67.8	A	A
	かかりつけ歯科医を持つ人の割合	51	幼児・小学生	52.2	60.2	-	E	-
			中高生	23.4	33.4			
			成人	39.2	42.3			
	1日1回でいねいに歯を磨いている人の割合	52	成人	73.1	82.5	-	E	-
歯・口腔の健康	デンタルフロス・歯間ブラシを使っている人の割合	53	成人	36.8	48.8	-	E	-
	電動ブラシを使っている人の割合	54	成人	13.2	13.5	-	E	-
	歯石を取ってもらう人の割合	55	中高生	6.4	13.5	-	E	-
			成人	29.2	40.4			

■（２）感染症対策

【目標】

- ①乳幼児の予防接種率の向上
- ②感染症に対する知識の普及
- ③性感染症に対する知識の普及

【評価】

- ①引き続き高い水準を維持する。
- ②・③有意な比較判定は困難であるが、市民啓発・知識の普及は継続する。

予防接種の種類		接種率（％）		
		H26	R2	R5
乳 幼 児	結核（BCG）	101.2	100.4	98.4
	インフルエンザ b 菌（ヒブ）	99.7	101.0	97.8
	肺炎球菌	99.3	98.9	97.9
	ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ（４種混合）	99.5	101.7	103.3
	麻しん 風しん １期	94.0	99.2	95.5
	麻しん 風しん ２期	92.3	95.2	93.7
	水痘	102.8	100.2	93.6
	日本脳炎	81.6	124.3	118.1
	おたふくかぜ	103.0	110.8	102.5
	B型肝炎	－	97.7	96.2
	ロタ（令和2年10月定期接種開始）	－	30.4	94.7
学 童 等	日本脳炎 ２期	57.5	81.3	52.8
	ジフテリア・破傷風（２種混合）	79.5	83.9	68.0
	子宮頸がん（令和3年11月から積極的勧奨）	－	－	5.9
高 齢 者	インフルエンザ	53.4	64.6	59.3
	肺炎球菌	31.3	9.5	8.0

■（３）社会環境の整備

【目標】

- ①地域で互いに助け合っていると思う人の割合の増加
- ②健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている人の割合の増加

【評価】

- ①地域のつながりを強いと感じている人は減少傾向。
- ②社会との接点を持つという観点からは、活動の性質による増減はあるものの、改善傾向が見られる。

【地域で互いに助け合っているか、つながりは強いと思うか？】					
	基準 H27	中間 R3	現状 R6	判定 基準対比	参考 中間対比
はい	28.4%	35.2%	26.1%	D	D
どちらでもない	34.3%	21.1%	30.6%		
いいえ	34.6%	42.3%	43.3%		
全体	97.3%	98.6%	100.0%		
未回答	2.7%	1.4%			

【この1年間でボランティア活動を行った人の割合】					
	H27	R3	R6	基準対比	中間対比
行った	17.5%	7.4%	16.6%	D	A
【この1年間で趣味・スポーツ・地域の行事等の地域活動に参加した人の割合】					
	H27	R3			R6 基準対比
参加した	25.5%	—	町内会・地域活動に参加した		33.2% A
			スポーツ関係の活動に参加した		24.3% C
			趣味関係の活動に参加した		27.3% B

■次期計画の指標および目標設定の考え方

※前回協議会（令和6年10月）において共有

- ① 先行する国・県の計画が採用する既定のフォーマットに倣う
- ② 国・県と比較のため可能なかぎり同じ指標を設定・観測する
- ③ より正確な進捗把握のため具体的な数値目標を設定する

■次期計画の指標および目標設定の考え方（補足説明）

（１）目標値として数値の設定が困難なもの

例① 主観的健康観：自分が健康であると感じる市民の割合

資料2-1の№1

⇒科学的な根拠に基づいた数値設定ができません。

計画の進捗とともに現況把握のため定期的に観測する指標とします。

例② 朝食を毎日食べる子どもの割合

資料2-1の№7

⇒国計画においては指標設定がないことから科学的な根拠に基づいた目標値が示されていません。

県計画の目標を参考に「増加」と設定しています。

■次期計画の指標および目標設定の考え方（補足説明）

（２）現時点では目標値設定を留保し、今後更新を図るもの

例① 児童・生徒における肥満傾向児の割合

資料2-1のNº 4

⇒国計画における目標設定は次のとおり。

「令和５年度から開始する第２次成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針（成育医療等基本方針の見直し等）に合わせて設定・更新予定」
他の関連計画等と整合するため、他の計画等の更新時に合わせる、としています。

今後、国計画の目標値が示された後、市計画の目標値を設定します。

■次期計画の指標および目標設定の考え方（補足説明）

（3）現時点で設定する目標値を超えるもの

例① 運動習慣者の割合 資料2-1のNº12

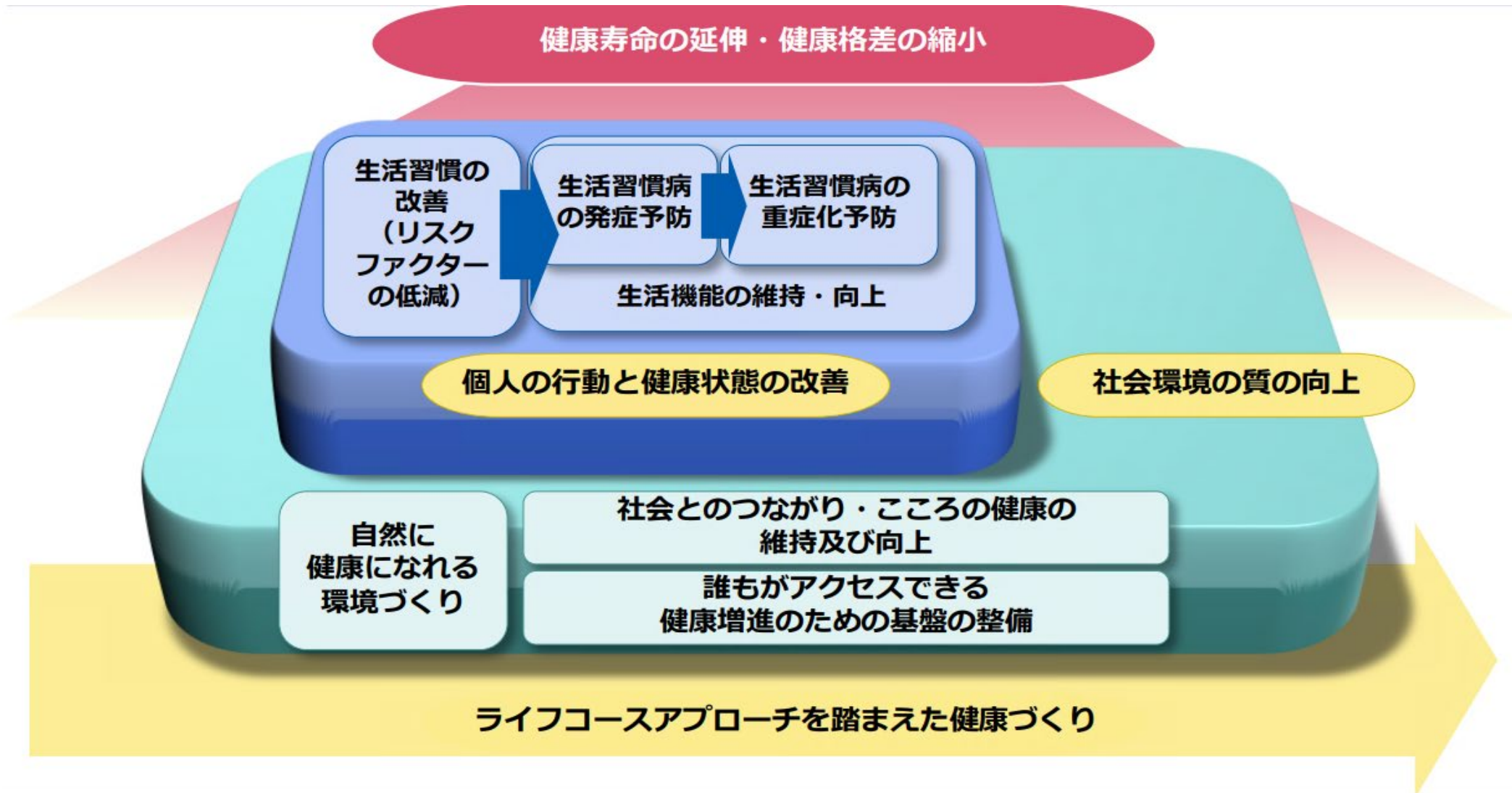
指 標		現状値			目標値（案）
		国	県	市	
運動習慣者の割合 【1回30分以上×週2回以上×1年以上継続】	20-64歳 男性	23.5%	29.7%	51.8%	30.0%
	20-64歳 女性	16.9%	25.7%	42.5%	
	65歳以上男性	41.9%	43.9%	72.1%	50.0%
	65歳以上女性	33.9%	40.1%	68.0%	

⇒ 国・県計画と同一の目標値とすることにより一定のボーダーラインとして設定します。

今後の推移を注視し、ラインを割ることがないよう高い水準を維持することが重要です。

■参考資料

計画の概念図



第3次健康増進計画の指標と現状値　　－①

基本的な方向				指 標		現状値			目標値（案）	指標の測定方法およびデータソース	目標値設定の考え方	№	
						国	県	市					
Ⅰ	健康寿命の延伸			主観的健康観：自分が健康であると感じる市民の割合		－	－	88.6%	右記「考え方」参照	市民アンケート調査	推移を観測しながら高い水準を維持	1	
				健康寿命：65歳（年）＋日常生活に制限のない期間の平均（年）	男 性	△	83.17	82.94	右記「考え方」参照	千葉県web（健康情報ナビ）より65歳平均自立期間を抽出する。 ※国とは算出方法の違いから単純比較できない。	計画評価年度における平均寿命の増加を上回る健康寿命の増加	2	
					女 性		86.06	86.02					
Ⅱ	個人 の 行 動 と 健 康 状 態 の 改 善	栄 養 ・ 食 生 活	(1)	適正体重を維持している者の割合 【18.5≦BMI<25.0　／　65歳以上は20.0<BMI<25.0】		60.3%	△	66.5%	66.0%	市民アンケート調査 ※県は性別・年代別に細分化、別途比較可能とする。	国目標値を基準として設定 推移を観測しながら高い水準を維持	3	
				児童・生徒における肥満傾向児の割合　【小学5年生の男女総計を評価】		10.96%	△	10.2%	右記「考え方」参照	教育委員会が行う児童・生徒のライフスタイル調査より抽出する。 ※県は性別かつ算定基準に違いがあるが、別途比較可能とする。	国目標値を踏まえて今後設定の予定とする	4	
				バランスの良い食事が摂れている者の割合【主食・主菜・副菜そろえた食事×1日2回以上×ほぼ毎日】		データなし	49.1%	51.4%	50.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	5	
				1週間に朝食を摂る日が6～7日の者の割合	30-40歳代男性	－	56.5%	69.5%	増加	市民アンケート調査	県目標「増加」を参考に設定	市食育推進計画との連携・整合を検討する予定	6
					20歳代女性		55.5%	50.0%	増加				
				朝食を毎日食べる子どもの割合【小学6年生】		－	84.5%	86.3%	増加	児童・生徒のライフスタイル調査（教育委員会）	県目標「増加」を参考に設定	7	
				野菜摂取量の平均値		281g	308g	145g	350g	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	8	
				果物摂取量の平均値		99g	データなし	97g	200g	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	9	
			塩分の摂取過多に気をつける人の割合		△	△	69.5%	70.0%	市民アンケート調査 ※国・県は食塩摂取量を捕捉、目標とする。	市食育推進計画の目標値と整合するよう設定 （30－50歳代男性）現状値61.2%　→　目標値70%以上	10		
			(2)	1日の歩数の平均値	20-64歳　男性	7,864歩	7,253歩	7,108歩	8,000歩	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	11	
		20-64歳　女性			6,685歩	6,821歩	5,840歩						
		65歳以上男性			5,396歩	6,023歩	6,161歩	6,000歩					
		65歳以上女性			4,656歩	4,815歩	5,027歩						
		運動習慣者の割合　【1回30分以上×週2回以上×1年以上継続】		20-64歳　男性	23.5%	29.7%	51.8%	30.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定 推移を観測しながら高い水準を維持	12		
				20-64歳　女性	16.9%	25.7%	42.5%						
				65歳以上男性	41.9%	43.9%	72.1%	50.0%					
				65歳以上女性	33.9%	40.1%	68.0%						
		1週間の総運動時間（体育授業除く）が60分未満の児童の割合 【小学5年生女子の割合を評価】		14.4%	△	29.6%	右記「考え方」参照	児童・生徒のライフスタイル調査（教育委員会） ※県は算定基準の違いから単純比較できない。	国目標値を踏まえて今後設定の予定とする	13			
		学校の運動部やスポーツクラブに入っている（週3日以上）子どもの割合 【小学5年生の割合を評価】		男　子	－	75.5%	66.8%	増加	児童・生徒のライフスタイル調査（教育委員会）	県目標「増加」を参考に設定	14		
			女　子	54.0%		47.3%							
		(3)	睡眠で休養がとれている者の割合	20-59歳	70.4%	66.4%	67.3%	75.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	15		
				60歳以上	86.8%	79.7%	80.1%	90.0%					
			睡眠時間が十分に確保できている者の割合 【20－59歳は6～9時間　／　60歳以上は6～8時間】	20-59歳	53.2%	データなし	53.5%	60.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	16		
				60歳以上	55.8%	データなし	53.8%	60.0%					
			睡眠時間が8時間以上の子どもの割合　【小学5年生の割合を評価】	男　子	－	67.1%	54.5%	増加	児童・生徒のライフスタイル調査（教育委員会）	県目標「増加」を参考に設定	17		
				女　子		69.2%	56.1%						
		週労働時間40時間以上の雇用者のうち、60時間以上の雇用者の割合		8.8%	16.4%	10.2%	5.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	18			

第3次健康増進計画の指標と現状値　－②－

基本的な方向				指 標			現状値			目標値（案）	指標の測定方法およびデータソース	目標値設定の考え方	№		
			国	県	市										
II	個人の行動と健康状態の改善	生活習慣の改善	(4) 飲酒	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g、女性20g以上の者の割合			男 性	14.9%	13.5%	15.4%	10.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	19	
							女 性	9.1%	9.4%	11.7%					
				中学生・高校生の飲酒者の割合			2.2%	△	2.1%	0.0%	高校生アンケート調査 ※県は性別で算出、別途比較可能とする。	国・県同一の目標値を基準として設定	20		
				妊婦の飲酒率			－	0.6%	1.2%	0.0%	妊娠届出時の聞き取り調査	県の目標値を基準として設定	21		
			(5) 喫煙	20歳以上の者の喫煙率			16.7%	△	10.0%	8.0%	市民アンケート調査 ※県は性別で算出、別途比較可能とする。	国同様、やめたい者がすべてやめた場合の喫煙率を目標値として設定	22		
				中学生・高校生の喫煙者の割合			0.6%	△	1.8%	0.0%	高校生アンケート調査 ※県は性別で算出、別途比較可能とする。	国・県同一の目標値を基準として設定	23		
				妊婦の喫煙率			1.9%	1.5%	1.2%	0.0%	妊娠届出時の聞き取り調査	国・県同一の目標値を基準として設定	24		
			(6) 歯・口腔の健康	40歳以上の歯周炎を有する者の割合			57.2%	53.6%	47.1%	40.0%	歯科健康診査（検診）実績報告より抽出する。	国・県同一の目標値を基準として設定	25		
				40歳以上の自分の歯が19歯以下の者の割合			－	19.3%	10.4%	4.0%	市民アンケート調査	県の目標値を基準として設定	26		
				80歳以上の自分の歯が20歯以上の者の割合			－	51.6%	53.5%	73.0%	市民アンケート調査	県の目標値を基準として設定	27		
				50歳以上の咀嚼良好者の割合			71.0%	70.5%	81.3%	80.0%	市民アンケート調査 推移を観測しながら高い水準を維持	28			
				過去1年間に歯科検診を受診した者の割合			52.9%	57.0%	67.8%	95.0%	市民アンケート調査	国目標値を基準として設定	29		
		生活習慣病（NCDs）の発症予防・重症化予防	がん	(1)	がんの年齢調整死亡率（人口10万人当たり）			110.1	△	109.6	減少	千葉県衛生統計年報と市人口統計（5歳階級別に加工）より算出する。 ※県は算定基準の違いから単純比較できない。	国目標「減少」を参考に設定、国の更新を踏まえて今後設定の予定とする	30	
				がん検診の受診率	胃がん	40-60歳代男性	48.0%	△	45.7%	60.0%	市民アンケート調査 ※胃がんについて、県は算定基準の違い（50-60歳代）から単純比較できない。	国目標値を基準として設定	31		
						40-60歳代女性	37.1%	△	41.3%						
					肺がん	40-60歳代男性	53.4%	54.6%	44.5%						
						40-60歳代女性	45.6%	50.1%	53.5%						
					大腸がん	40-60歳代男性	47.8%	48.5%	45.5%						
						40-60歳代女性	40.9%	44.2%	56.6%						
					子宮頸がん	20-60歳代女性	43.7%	47.5%	50.6%						
					乳がん	40-60歳代女性	47.4%	55.0%	53.4%						
			循環器病	(2)	脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率（人口10万人当たり）			男 性	287.5	116.8	363.7	減少	千葉県衛生統計年報と市人口統計（5歳階級別に加工）より脳血管疾患と心疾患をそれぞれ算出後に合計する。	国目標「減少」を参考に設定、国の更新を踏まえて今後設定の予定とする	32
								女 性	165.3	63.0	190.9				
				収縮期血圧の平均値（40歳以上、内服加療中の者を含む）	男 性	133.9mmHg	127.6mmHg	130.6mmHg	ベースライン値から5mmHgの低下	国保KDB特定健診情報から抽出する	国・県同一の目標値を基準として設定	33			
					女 性	129.0mmHg	123.1mmHg	128.4mmHg							
				LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合（40歳以上、内服加療中の者を含む）	男 性	9.1%	14.6%	9.0%	ベースライン値から25%の減少	国保KDB特定健診情報から抽出する	国・県同一の目標値を基準として設定	34			
					女 性	12.3%	14.5%	13.1%							
				メタボ該当者及び予備軍の人数	男 性	約1,619万人	632,670人	4,863人	右記「考え方」参照	「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」調査報告から抽出する	国目標値を踏まえて今後設定の予定とする	35			
					女 性		192,522人	2,397人							
	特定健康診査の実施率			56.5%	55.8%	41.3%	右記「考え方」参照	「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」調査報告から抽出する	国目標値を踏まえて今後設定の予定とする	36					
	特定保健指導の実施率			24.6%	22.7%	21.2%	右記「考え方」参照	「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」調査報告から抽出する	国目標値を踏まえて今後設定の予定とする	37					
	糖尿病	(3)	糖尿病腎症の年間新規透析導入患者数			15,271人	806人	26人	ベースライン値から8%の減少	国保「特定疾病療養受領証」の交付状況より抽出する	国・県同一の目標値を基準として設定	38			
			治療継続者の割合			67.6%	88.8%	93.1%	75.0%	市民アンケート調査	国目標値を基準として設定 推移を観測しながら高い水準を維持	39			
			血糖コントロール不良者HbA1c8.0%以上の者の割合	男 性	1.9%	2.1%	1.6%	1.0%	国保KDB特定健診情報から抽出する	国・県同一の目標値を基準として設定	40				
		女 性		0.7%	0.8%	0.8%									
		(4) COPD	COPDの死亡率（人口10万人当たり）			13.3	11.6	7.8	10.0	千葉県衛生統計年報と市人口統計より算出する 「粗死亡率＝死者数／市人口」×10万（人口10万人当たり）	国・県同一の目標値を基準として設定 推移を観測しながら高い水準を維持	41			
	生活機能の維持・向上	ロコモティブシンドローム 【足腰に痛みのある65歳以上の人数（人口1,000人当たり）】			232人	222人	185人	ベースライン値から10%の減少	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	42				
		心理的問題を解消できていない者の割合			△	△	72.5%	ベースライン値から10%の減少	市民アンケート調査 ※国・県と同一の指標は設定困難のため比較はできない。	国の目標設定を参考に設定	43				

第3次健康増進計画の指標と現状値　　－③

基本的な方向			指 標	現状値			目標値（案）	指標の測定方法およびデータソース	目標値設定の考え方	№		
				国	県	市						
Ⅲ	社会環境の質の向上	社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上	地域の人々とのつながりが強いと思う者の割合		40.2%	41.3%	26.1%	45.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	44	
			いずれかの社会活動（就労・就学を含む）を行っている者の割合		データなし	データなし	88.9%	ベースライン値から5%の増加	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	45	
					町内会や地域行事	43.1%	データなし					33.2%
					ボランティア活動	15.6%	データなし					16.6%
					スポーツ関係のグループ活動	19.6%	データなし					24.3%
					趣味関係のグループ活動	23.0%	データなし					27.3%
					その他のグループ活動	16.6%	データなし					18.6%
					就 労	60.9%	データなし					67.9%
			就 学	データなし	データなし	4.2%						
		地域等で共食している者の割合		データなし	データなし	51.4%	30.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定 推移を観測しながら高い水準を維持	46		
	メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合		△	67.5%	78.2%	80.0%	市民アンケート調査 ※国はデータソース、算定基準の違いから比較できない。 千葉県衛生統計年報と市人口統計より算出する	県の目標値を基準として設定	47			
自殺死亡率（人口10万人当たり）		△	△	15.5	12.2	「粗死亡率＝死者数／市人口」×10万（人口10万人当たり）	市自殺対策計画と整合	48				
な 自然 る に 健康 く り 環境 づく り	望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合		家庭	6.9%	5.0%	3.1%	望まない受動喫煙のない社会の実現	市民アンケート調査	国・県同一の目標を基準として設定	49		
			職場	26.1%	19.5%	10.3%						
			飲食店	29.6%	16.0%	27.9%						

Ⅳ	ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり	子ども	(1)	児童・生徒における肥満傾向児の割合 【小学5年生の男女総計を評価】		10.96%	△	10.2%	右記「考え方」参照	教育委員会が行う児童・生徒のライフスタイル調査より抽出する。 ※県は性別かつ算定基準に違いがあるが、別途比較可能とする。	国目標値を踏まえて今後設定の予定とする	再掲
				朝食を毎日食べる子どもの割合【小学6年生】		－	84.5%	86.3%	増加	児童・生徒のライフスタイル調査（教育委員会）	県目標「増加」を参考に設定	再掲
			1週間の総運動時間（体育授業除く）が60分未満の児童の割合 【小学5年生女子の割合を評価】		14.4%	△	29.6%	右記「考え方」参照	児童・生徒のライフスタイル調査（教育委員会） ※県は算定基準の違いから単純比較できない。	国目標値を踏まえて今後設定の予定とする	再掲	
			学校の運動部やスポーツクラブに入っている（週3日以上）子どもの割合 【小学5年生の割合を評価】	男 子	－	75.5%	66.8%	増加	児童・生徒のライフスタイル調査（教育委員会）	県目標「増加」を参考に設定	再掲	
				女 子		54.0%	47.3%					
			睡眠時間が8時間以上の子どもの割合【小学5年生の割合を評価】	男 子	－	67.1%	54.5%	増加	児童・生徒のライフスタイル調査（教育委員会）	県目標「増加」を参考に設定	再掲	
				女 子		69.2%	56.1%					
			中学生・高校生の飲酒者の割合		2.2%	△	2.1%	0.0%	高校生アンケート調査 ※県は性別で算出、別途比較可能とする。	国・県同一の目標値を基準として設定	再掲	
		中学生・高校生の喫煙者の割合		0.6%	△	1.8%	0.0%	高校生アンケート調査 ※県は性別で算出、別途比較可能とする。	国・県同一の目標値を基準として設定	再掲		
		高齢者	(2)	BMI20以下の高齢者（65歳以上）の割合		16.8%	15.1%	21.7%	13.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	再掲
			ロコモティブシンドローム 【足腰に痛みのある65歳以上の人数（人口1,000人当たり）】		232人	222人	185人	ベースライン値から10%の減少	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	再掲	
			いずれかの社会活動（就労・就学を含む）を行っている高齢者（65歳以上）の割合		データなし	△	83.0%	ベースライン値から10%の増加 ※県は性別で算出、別途比較可能とする。	市民アンケート調査 ※県は性別で算出、別途比較可能とする。	国・県同一の目標値を基準として設定	再掲	
		女性	(3)	BMI18.5未満の20-30歳代女性の割合		18.1%	16.7%	10.7%	15.0%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定 推移を観測しながら高い水準を維持	再掲
				1日当たりの純アルコール摂取量が女性20g以上の者の割合		9.1%	9.4%	11.7%	6.4%	市民アンケート調査	国・県同一の目標値を基準として設定	再掲
				妊婦の飲酒率		－	0.6%	1.2%	0.0%	妊娠届出時の聞き取り調査	県の目標値を基準として設定	再掲
				妊婦の喫煙率		1.9%	1.5%	1.2%	0.0%	妊娠届出時の聞き取り調査	国・県同一の目標値を基準として設定	再掲